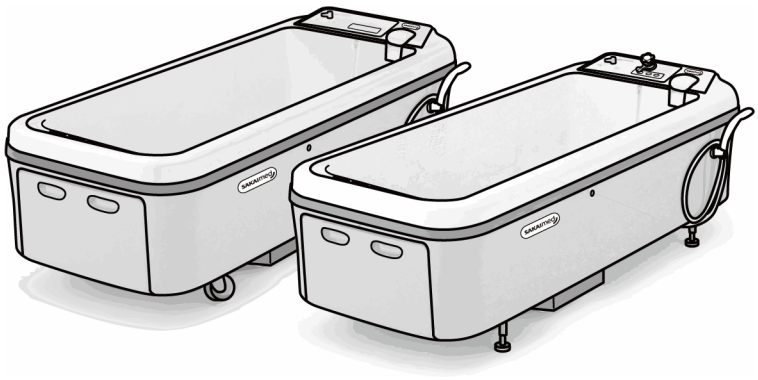
SAKAImed

取扱説明書

Lupinus

簡易浴槽　ルピナス

ＬＵＰ－９２０/９３０/９４０(ムーバブル)



＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

＊「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

01-048⑬L1

もくじ

安全上のご注意 …… 3
各部の名称及び働き …… 7
　操作パネルの働き …… 9
組み合わせ …… 10
ご使用になる前に …… 11
　本製品を直接入浴で使用する場合について 11
　電源（LUP-930） …… 11
　給湯水圧 …… 11
　入浴剤の使用 …… 12
　薬液及び銀イオン殺菌について …… 12
　移動式浴槽（LUP-940）の設置 …… 13
浴槽の操作方法 …… 14
　給湯 …… 14
　シャワー …… 16
　バブラー（LUP-930 のみ） …… 17
　排水 …… 17
入浴手順 …… 18
お手入れの仕方 …… 19
このようなときには …… 20
機器の保守・点検について …… 21
保証とアフターサービス …… 22
仕 様 …… 23

用途

本製品は、介助を必要とする入浴者に、安全に心地良く入浴していただくと共に介助者の負担を軽くすることを目的とした入浴装置です。

特長

- **直接入浴もできる簡易浴槽。**
  浴槽の縁を低くし、底面には滑り止め処理を施しています。
- **省スペース設計。**
  コンパクトなので、限られたスペースでの有効活用を必要とされる浴室に最適です。
- **ニーズに合わせたラインナップ。**
  スタンダードな据置タイプ、快適な気泡浴装置内臓タイプ、自由に移動できるタイプの 3 種類をシリーズとして用意してあります。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

電源・給湯水圧・その他

⚠警告

サービスマン以外は、電源の接続を行わない
正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

適正圧力及び圧力比範囲となるよう管理
適正範囲を外れると、給湯やシャワーの湯温が急変することがあり、入浴者及び介助者がやけどをする恐れがあります。(P.11 参照)

直接入浴を行うときは必ず介助者が介助及び看視をする
浮力により入浴者の体が浮いて、不安定になります。水没等の恐れがありますので必ず介助を行って入浴してください。

⚠注意

使用電圧は AC100Ｖ±5%の範囲内で使用する
範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因となります。

この製品は、一部に天然ゴムを使用しています
かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し、適切な措置を施してください。

⚠ 警告

給湯や差し湯は、必ず手で湯温を確認

温度が高いとやけどをする恐れがあります。特に浴槽内に入浴者がいる状態で給湯や差し湯をする場合には、足先等にかからないよう十分注意してください。

LUP-940（移動式浴槽）に給湯する場合、適温水以外とは絶対に接続しない

やけどやホースの破損原因となります。

適温水のホースをしっかり接続して、はずれないことを確認してください。

ホースは伸ばしすぎないようにしてください。

シャワーを入浴者にかける前だけでなく使用中も絶えず手で温度を確認

- 熱い湯が配管内に溜まっている場合がありますので、確認する前に安全な所に吐水して、最初の湯は捨ててください。
- 温度調節ノブを回した後、湯温が設定温度になるまでに数秒かかりますので注意してください。
- 温度調節ノブで温度調節した後でも、給湯・給水の水圧の急変により、シャワーの温度が急に変わることがありますので常に手で湯温を確認してください。

温度調節ノブはゆっくり回す

急に回すと温度が急激に変化し、やけどをする恐れがあります。

シャワーをかけたままにして入浴者から離れない

介助者が離れている間に温度が急変し、やけどをする恐れがあります。

高温のお湯を使用した後は、必ず温度調節ノブを元に戻す

そのままにしますと、次に使用するときにやけどをする恐れがありますので、低温側に回して、しばらく湯を流してください。

⚠ 注意

流量調節ノブはゆっくり回す

ノブを閉の方に急に回すと、水圧が高くなり配管から水漏れを起こす原因になります。

使用後は流量調節ノブで湯を止めてから、シャワーホース内の加圧水をすてる

手元ボタンのみでシャワーの ON/OFF 操作を行っていると、シャワーヘッドの寿命が短くなります。またホース内に加圧水を残こしたままにすると故障の原因になります。

浴槽の操作

⚠ 危険

LUP-940 の設置時、キャスターストッパーは、４つすべてかける

ロックが不充分な場合は、不意に浴槽が動いて事故につながる恐れがあります。

LUP-940 は湯をためたまま移動しない

移動操作が困難になり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意

LUP-940 はホースをつないだまま移動しない

ホースが引っ張られて、機械を破損する恐れがあります。

LUP-940 は給湯する前にキャスターのロックを必ず確認

浴槽が動いて事故につながる恐れがあります。

浴槽に寄り掛からない

特に水の入っていない状態では動きやすいので、浴槽と床の間に足を入れないように注意してください。

オーバーフローや排水口には、手や指をいれない

吸い込まれて、けがをする恐れがあります。

浴槽内にシャワーヘッドを投げ込まない

破損の恐れがあります。

入浴の操作

⚠ 警告

担架に乗せたら手すりを握らせ、安全ベルトを使用する

ベルトをしなかったり、固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトで擦れてけがをする恐れがあります。

入浴中の入浴者の状態に注意

水没等が発生しないように、常に観察してください。

担架上で作業するときは落下に注意

入浴者を担架上で起こすときや背中を洗身する際は、落下に注意してください。

⚠ 注意

入浴時担架の下降高さに注意

ストレッチャーを下降させるとき浴槽底面と担架が当たらないように注意してください。

ストレッチャー下降の際、手足に注意

手足が担架の外に出ていると、ストレッチャーと浴槽の間に挟まれる恐れがあります。

浴槽にストレッチャー等をぶつけない

破損する恐れがあります。

入浴剤・薬液

⚠ 危険

次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない

人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。万が一塩素ガスを吸込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

当社指定外の薬液を使用しないまた、銀イオン殺菌装置と入浴剤・薬液を併用して使用しない

イオウ系の薬液等は浴槽の金属部や電気部品、ゴム部品等を腐食させます。ご使用になり装置が故障した場合は、保証期間内の製品でも、保証対象となりませんのでご注意ください。

入浴中に薬液の投入は行わない

入浴者に健康被害を及ぼす恐れがあります。

推奨濃度より濃い濃度で殺菌しない

機器の破損につながる恐れがあります。

薬液を取り扱うときは、容器に書かれている使用上の注意をよく読む

- 各注意事項をお守りください。
- 周囲に薬液がこぼれた場合は水でよく洗い流してください。床やフレーム等の変色や錆の原因となります。

薬液を使用したときは、入浴作業終了後、きれいに洗い流す

残っていると、変色や錆の原因となります。

着色性及びイオウ成分の入った入浴剤は、使用しない

ご使用になると、よごれを落としにくくなったり、金属の腐食等を起こす恐れがあります。

ご使用後

⚠ 注意

操作スイッチにシャワー等で水をかけない

水がかかると電気系統の故障の原因になります。

浴槽下面の床に激しく水をかけない

跳ねた水が機械の奥まで入り故障につながる恐れがあります。

使用後は、必ず排水をする

浴槽はポリエステル系の FRP 製であり、長時間（24 時間以上）水を張っておきますと侵食される恐れがあります。また、水垢などが浴槽にこびりつき汚れが落ちにくくなります。

移動式浴槽で排水をするときは、排水ピットの位置を確認する

排水ピットの上で排水してください。ピットの無いところでの排水は浴室に湯があふれてしまいます。

使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる

湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

使用後は、必ず電源を切る

事故を防止します。

メンテナンスカバーを勝手に開けない

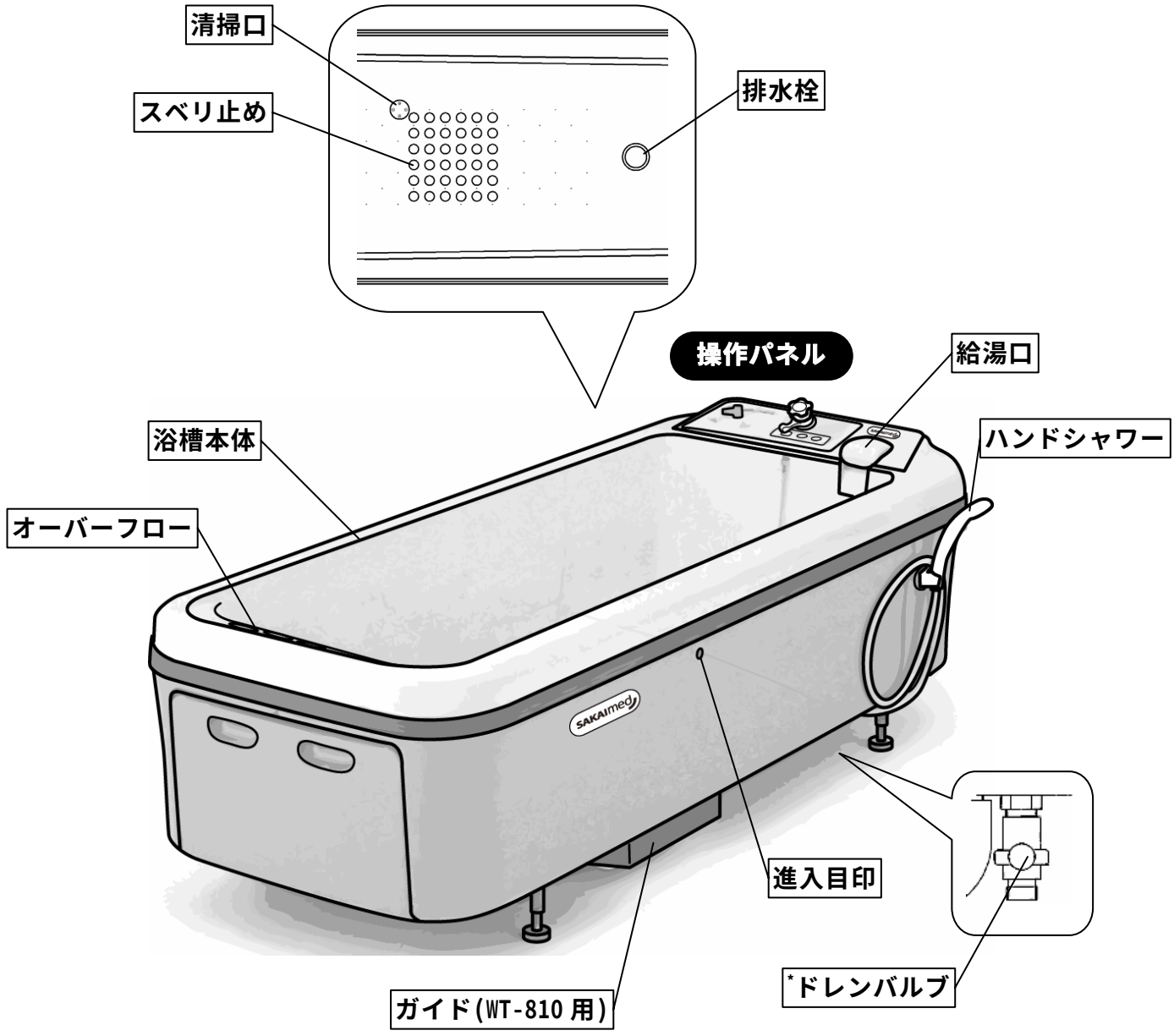
故障の際は、お近くの営業所までご連絡ください。

納入時のビニールカバーは、破棄する

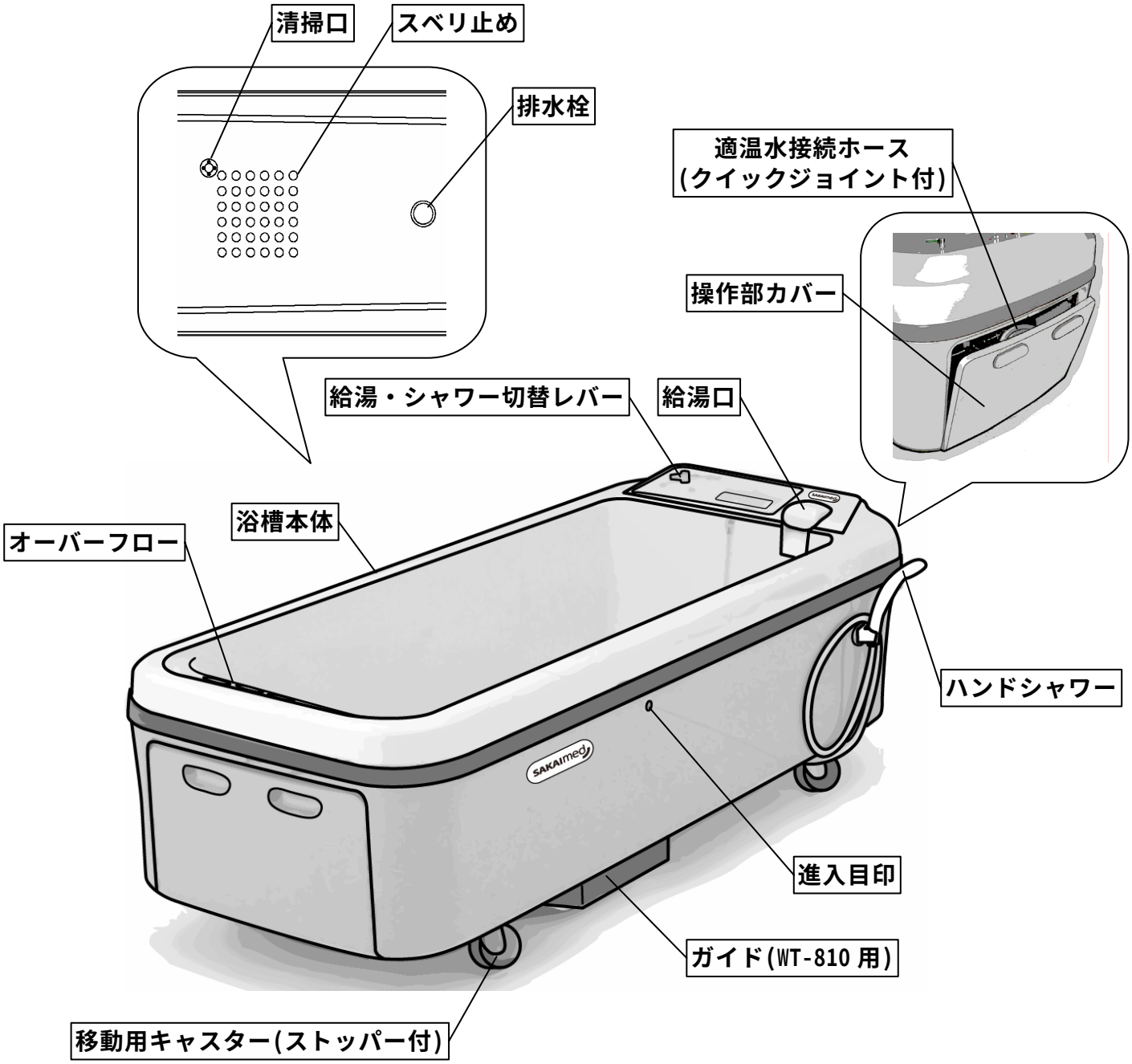
製品にかけて使用すると、錆などが発生しやすくなるので、絶対に使用しないでください。

各部の名称及び働き

LUP-920,LUP-930（*印は LUP-930 のみ）

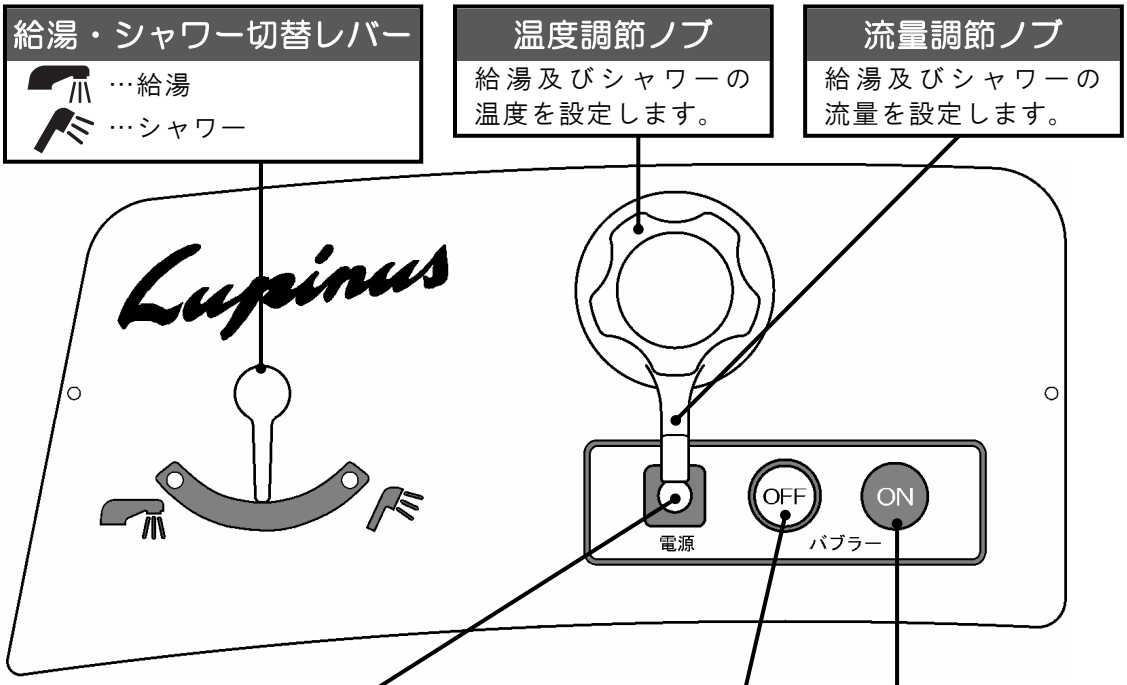


LUP-940


清掃口
スベリ止め
排水栓
適温水接続ホース
(クイックジョイント付)
操作部カバー
給湯・シャワー切替レバー
給湯口
浴槽本体
オーバーフロー
ハンドシャワー
進入目印
ガイド(WT-810 用)
移動用キャスター(ストッパー付)

操作パネルの働き

LUP-920,LUP-930（*印は LUP-930 のみ）



組み合わせ

● 浴槽の構成と種類

・据置式　LUP-920

浴　　槽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１台

ハンドシャワー・・・・・・・・・・・・・・・・・・１基

・据置式・気泡浴装置内蔵　LUP-930

浴　　槽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１台

（気泡浴装置内蔵）

ハンドシャワー・・・・・・・・・・・・・・・・・・１基

・移動式　LUP-940

浴　　槽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１台

（キャスター付）

ハンドシャワー・・・・・・・・・・・・・・・・・・１基

● 周辺装置(オプション)

・昇降式ストレッチャー　　・・・WT-810

・ミキシングバルブユニット　・・・WM-90

浴槽とストレッチャーを組み合わせて使用することができます。

操作方法については、各々の 取扱説明書 をご覧ください。

ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.21 の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

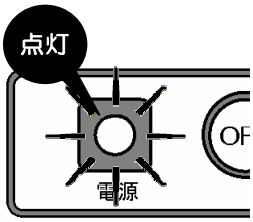
本製品を直接入浴で使用する場合について

座った状態を独力で維持できない方や、前方や左右に極端に寄りかかったり、片寄って座ったりする状態となる方は、本製品による直接入浴はできません。

> ⚠**警告**　**直接入浴を行うときは必ず介助者が介助及び看視をする**
>
> 浮力により入浴者の体が浮いて、不安定になります。水没等の恐れがありますので必ず介助を行って入浴してください。

電源（LUP-930）

LUP-930 は使用前に必ず浴室の浴槽用電源のブレーカーを点検してください。浴室の浴槽用電源を入れ、浴槽操作部のバブラー電源ランプ類が点灯していることを確認してください。



給湯水圧

LUP-920･930 用ミキシングバルブに供給される湯及び水の適正使用圧力は 120～150 kPa (約 1.2～1.5 kg/㎠)です。圧力比は変動を含んでも最大 ２：１ です。適正範囲内でご使用ください。

> ⚠**警告**　**適正圧力及び圧力比範囲となるよう管理**
>
> 適正範囲を外れると、給湯やシャワーの湯温が急変することがあり、入浴者及び介助者がやけどをする恐れがあります。

入浴剤の使用

入浴剤は、使用上の注意をよく読んで、浴槽(FRP)や配管等に悪影響を及ぼさない製品を使用してください。ただし、粉末状の入浴剤は、溶け残ったものが配管内に付着しますと故障の原因になりますので、使用しないでください。

薬液及び銀イオン殺菌について

● 薬液殺菌について

薬液で浴槽水を殺菌する場合は、**次亜塩素酸ナトリウム（6%溶液）**を使用してください。他の薬液を使用したり、他の薬液と混ぜて使用しないでください。

（入浴終了後の浴槽の殺菌方法は P.19 参照）

＜浴槽水の殺菌＞

◎入浴作業 1 時間毎を目安に実施してください。

1. 満水時に**塩素 5cc** の薬液を浴槽へ投入します。（満水の湯量、約 380ℓに対して、0.6ppm の塩素濃度になります。－当社推奨値－）
   ※入浴者が入っていないのを確認してください。
2. お湯をよく撹拌します。
3. 入浴者を浴槽に入れます。
   ※入浴中には塩素を投入しないでください。

> ⚠ **危険　次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品と一緒に用いない**
> 人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

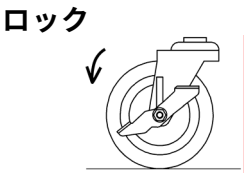
● 銀イオン殺菌装置について

銀イオン殺菌装置を本製品に接続し使用すると、FRP 表面が黒ずむ事がありますのでご了承ください。また、銀イオン殺菌装置を使用した場合は、入浴剤・薬液は併用しないでください。黒ずみを促進させる恐れがあります。

移動式浴槽（LUP-940）の設置

● 固定

1 浴槽は、平らな床面に設置してください。
2 キャスターストッパーを踏み込んでロックをかけ、浴槽を固定してください。

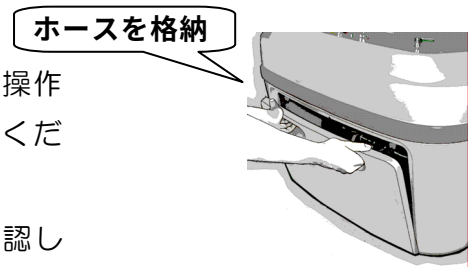


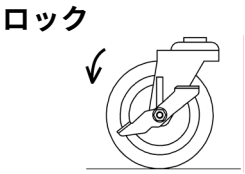
⚠危険　キャスターストッパーは、４つすべてかける
ロックが不充分な場合は、不意に浴槽が動いて事故につながる恐れがあります。

⚠注意　給湯する前には、必ずロックを確認

● 移動

1 浴槽を移動(後片付け等)するときは、前もって操作部カバー内にホースを格納してから行なってください。
2 移動をするときは、周囲に人がいないことを確認し足等をはさみ込まないように注意してください。
3 移動後は必ず平らな場所でキャスターストッパーのロックをかけてください。





⚠危険　湯をためたまま移動しない
移動操作が困難になり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠注意　ホースをつないだまま移動しない

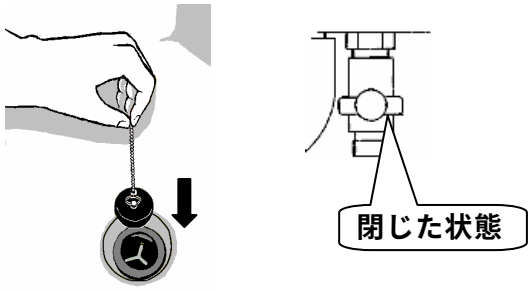
●ご使用中に…

万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

各部の操作

給湯

給湯前に排水栓および、浴槽下部のドレンバルブ(LUP-930 のみ)が閉まっていることを確認してください。

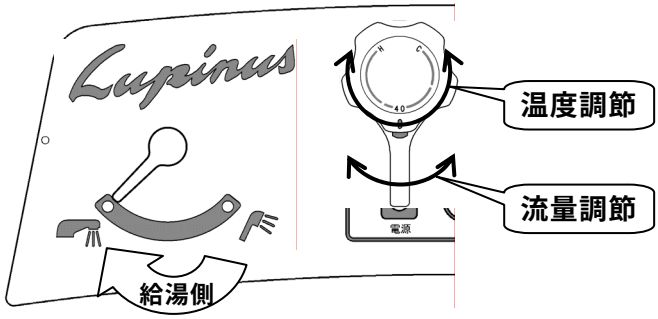


✹ LUP-920，LUP-930 の場合

1 給湯・シャワー切替レバーを、給湯側にします。

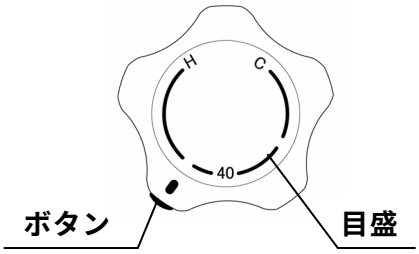
2 流量調節ノブを回すと給湯口から浴槽へ給湯されます。

3 給湯温度を調節します。温度調節ノブを「H」の方に回すと温度が上がり、「C」の方に回すと温度が下がります。

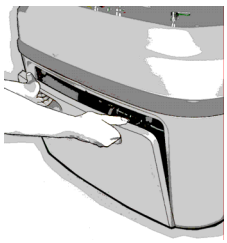


4 温度調節ノブには、誤って熱湯を出さないようにボタンが付いています。(温度調節ノブのみを「H」の方に回すと、目盛“40”付近で停止します)

高温のお湯を出す場合には、ボタンを押して温度調節ノブを回すことにより使用できますが、やけどの恐れがあるため、通常はノブの停止位置より温度の低い範囲でご使用ください。

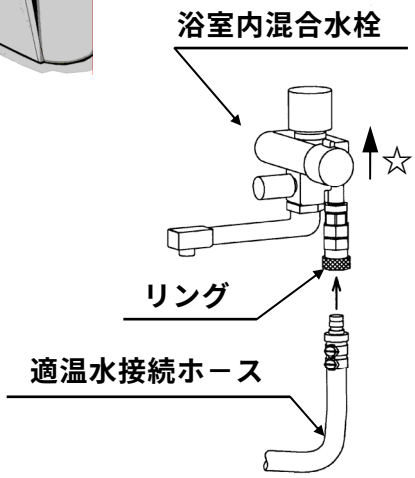


✹ LUP-940 の場合



1 操作部カバーを手前に引いて開けます。

2 適温水接続ホースを設置場所に合わせ
①ミキシングバルブユニット(別売り)に接続。
②浴室内の混合水栓と接続。
の 2 系統選べます。



混合水栓に接続‥‥混合水栓のリングを☆の方向にスライドさせて適温水接続ホースを差し込み、リングをもとに戻します。(使用後に適温水接続ホースをはずすときも、同様の操作を行います)

3 1で取り外した操作部カバーを元にもどします。

4 給湯・シャワー切替レバーを給湯側にします。

5 ミキシングバルブユニット、または浴室内の
混合水栓で温度を調節します。

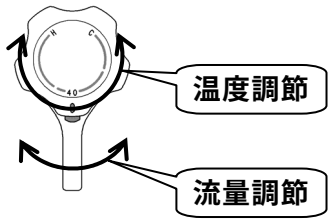
6 ミキシングバルブユニット、または浴室内の
混合水栓のバルブを開きます。

⚠ 警告 ・給湯や差し湯をするときは、必ず手で温度を確認
温度が高いとやけどをする恐れがあります。
・LUP-940（移動式浴槽）に給湯する場合、適温水以外とは絶対に接続しない

シャワー

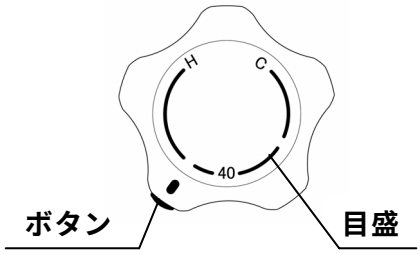
1 給湯・シャワー切替レバーを、シャワー側にします。

2 温度調節ノブで、シャワーの温度調節を行います。
(LUP-940 の場合、ミキシングバルブユニット、または浴室内の混合水栓で行います)



3 温度調節ノブには、誤って熱湯を出さないようにボタンが付いています。(温度調節ノブのみを「H」の方に回すと、目盛“40”付近で停止します)

高温のお湯を出す場合には、ボタンを押して温度調節ノブを回すことにより使用できますが、やけどの恐れがあるため、通常はノブの停止位置より温度の低い範囲でご使用ください。



⚠ 警告 ・シャワーを入浴者にかける前だけでなく使用中も絶えず手で温度を確認

熱い湯が配管内に溜まっている場合がありますので、確認する前に安全な所に吐水して、最初の湯は捨ててください。

・温度調節ノブはゆっくり回す

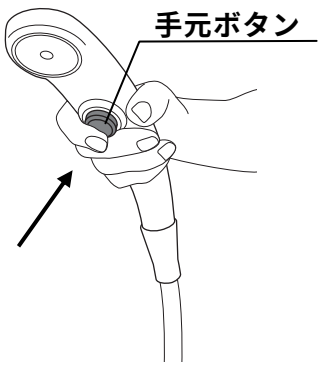
・高温でお湯を使用した後は、必ず温度調節ノブを元に戻す

・シャワーをかけたままにして入浴者から離れない

4 流量調節ノブでシャワーの開閉及び流量調節を行います。
(LUP-940 の場合、ミキシングバルブユニット、または浴室内の混合水栓で行います)

⚠ 注意 流量調節ノブはゆっくり回す

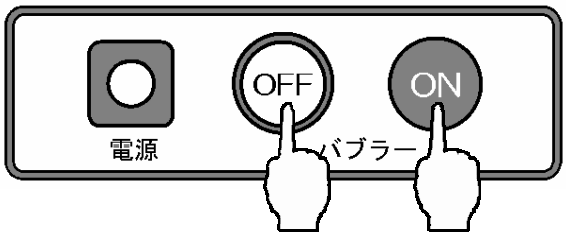
5 ハンドシャワーは、手元ボタンを押すごとにシャワーのON/OFF を切り替えることができます。



⚠ 注意 使用後は流量調節ノブで湯を止めてから、シャワーホース内の加圧水をすてる

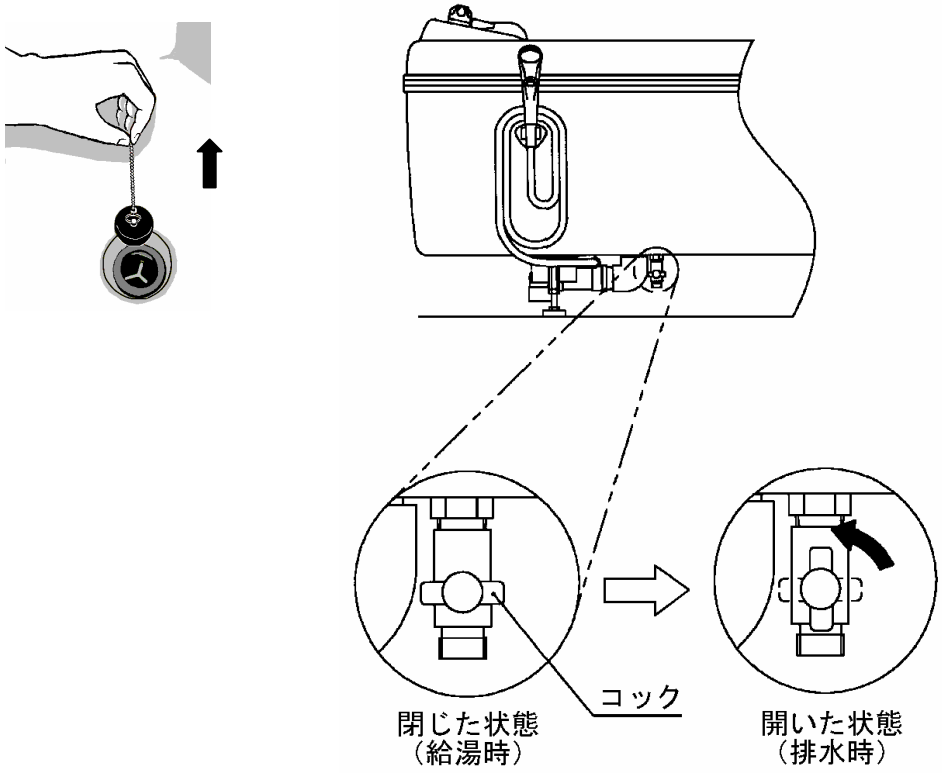
バブラー（LUP-930 のみ）

バブラーON スイッチを押すと浴槽内に気泡が発生しますので気泡浴として入浴できます。停止させるときは、バブラーOFF スイッチを押します。



排水

使用後は、浴槽内の排水栓と浴槽下部のドレンバルブ(LUP-930 のみ)のコックを開いて浴槽内の水を抜きます。排水後は、必ずコックの向きを元にもどしてください。



⚠ 注意　移動式浴槽で排水をするときは、排水ピットの位置を確認する

入浴手順

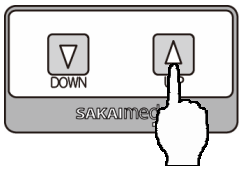
◎昇降式ストレッチャー（WT-810）を使用した手順です。

1 担架を昇降し、入浴者が移乗しやすい高さにします。

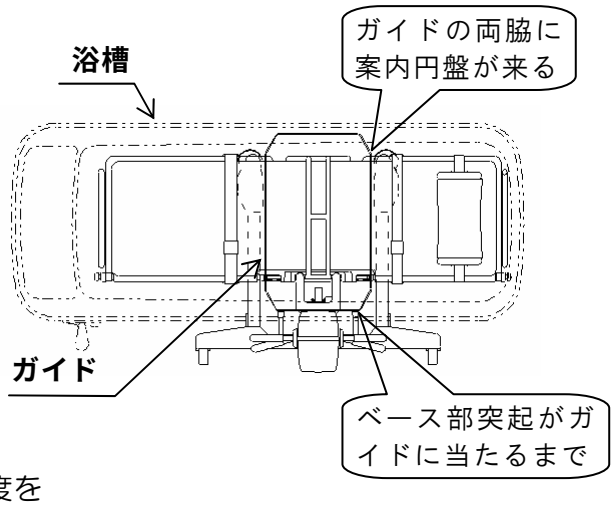
2 入浴者を担架に移乗させます。

3 入浴者にベルトを掛け、手すりを握らせます。

4 担架下面が、浴槽の縁を超える高さまで担架を上昇させます。



5 浴槽進入目印●（青）を目安に、浴槽下部のガイドに合わせ、ストレッチャーを押し込みます。
（ベース部突起が浴槽下部のガイドに当たるまで押し込みます）

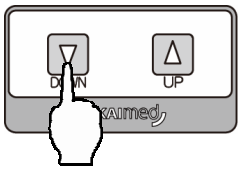


6 ストレッチャーのキャスターをロックします。

7 浴槽とぶつからないように、リクライニング角度を3段目（36°）または、4段目(54°)に設定します。

8 入浴者の安全を確認後、担架を下降させます。

9 担架が浴槽底面に触れる前に下降を止めます。



警告
- **担架に乗せたら、手すり及び安全ベルトを必ず使用**
  入浴者が落下する恐れがあります。
- **担架からの落下に注意**
  入浴者を担架上で起こすときや背中を洗身する際は、注意してください。
- **入浴中の入浴者の状態に注意**
  常に観察し、水没等が発生しないようにしてください。

注意
- **入浴時担架の下降高さに注意**
- **ストレッチャー下降の際、手足に注意**
- **浴槽にストレッチャー等をぶつけない**

お手入れの仕方

- 使用後は、必ず浴室の電源を「OFF」にしてください。
- 浴槽は、FRP 製です。たわし等で擦りますと傷がつきますのでスポンジ等の柔らかいもので洗浄してください。洗浄後は雑巾で軽く拭き取ってください。
- 操作スイッチは、雑巾等で軽く拭く程度にしてください。
- ステンレス部は、水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。乾いた布できれいに拭きとってください。
- 洗浄時は、操作部や駆動部に水をかけないようにしてください。
- **浴槽殺菌方法：LUP-920/940**（塩素濃度　約 1ppm の殺菌）
  ：LUP-930（塩素濃度　約 2ppm の殺菌）

◎毎日の入浴作業終了後に、実施してください。

	作　業　手　順	備　　考
1	担架付ストレッチャーを浴槽に入れる	
2	浴槽に 水(湯)を入れる（追加する）	満水近くまで入れます。
3	**塩素 8 cc（LUP-920/940）** **16 cc（LUP-930）** を浴槽へ投入	液は**次亜塩素酸ナトリウム 6%溶液**。 （満水の湯量、約 380ℓに対して、LUP-920/940 は 1ppm、LUP-930 は 2ppm の塩素濃度になります。－当社推奨値－） **担架に直接、液をかけないでください。**
4	お湯をよく撹拌	湯を撹拌し、殺菌します。 LUP-930 はバブラーを 30 秒間作動→2 分間放置→バブラーを 30 秒間作動
5	3 分間放置	
6	担架付ストレッチャーを出す	
7	他の担架付ストレッチャーを入れて、4～7 を繰り返す	全ての担架付ストレッチャーを同様に殺菌します。
8	排水する	LUP-930 はバブラーも作動させて排水する。
9	浴槽・担架付ストレッチャーをシャワーで水洗いする	塩素をよく洗い落とします。 LUP-930 はバブラーも 30 秒間作動させバブラー内の排水をします。
10	乾拭きする	
11	電源を切り、室内を換気する	

このようなときには

症　　状	原　　因	対　　策
バブラーが動かない。	電源が切れている。	スイッチを確認してください。
	電気系のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
電源ランプがつかない。	ブレーカーが落ちている。	ブレーカーを上げてください。
給湯水の吐出量が一定しない。	ストレーナーの目詰まり。	最寄りの営業所にご連絡ください。
給湯温度が一定しない。	ストレーナーの目詰まり。	最寄りの営業所にご連絡ください。
	圧力比が使用条件外。	圧力比を適正値に調整してください。
給湯温度が低すぎる または、高すぎる。	ミキシング調整不良。	ミキシングを再調節してください。
	給湯水の圧力比が使用条件外。	圧力比を適正値に調整してください。

- その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。
- ご使用中万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	カバーのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、触って確認
	浴槽内の汚れまたは、不要物	目視
	給湯口からの湯の漏れ	目視
機能	電源ランプの点灯 (LUP-930 のみ)	目視
	給湯ミキシングバルブの温度調整(LUP-920,930 のみ)	高温側と低温側に回し温度の調整が可能か手で確認 (確認後、適温に戻すこと)
	給湯・シャワー切替レバーの作動	差し湯をしているときに切替レバーを給湯側または、シャワー側に回し、切替わるのを確認
	キャスターのロック (LUP-940 のみ)	前後左右に押して浴槽が動かないことを確認

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

✹ 保証書と保証期間

- 保証書(別添)はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレーム及び FRP 部品は 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

✹ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。
  - ・機種名　：　*LUP-920,930,940*
  - ・お買い上げ年月：　　年　　月
  - ・故障状況(できるだけ詳細に)
  - ・住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決して開けたり分解しないでください。

✹ 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

✹ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。
  シャワーヘッド
- 正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。
  給湯・給水用ホース /シャワーホース / 止水栓パッキン
  ミキシング(LUP-920,930) / キャスター(LUP-940)

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

✹ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

型　式		LUP-920	LUP-930	LUP-940
外形寸法		2075（L）×805（W）×670（H）㎜		
総質量		約 80 kg	約 90 kg	約 73 kg
電　源		ー	単相 100Ｖ　50/60 Hz 15Ａ	ー
電　力		ー	160/220W	ー
浴槽容量		約 380ℓ		
材 質	浴　槽	FRP 製		
	フレーム	FRP 製		
		ー	バブラー内蔵	ー

注)都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。